



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月30日

上場会社名 株式会社杉村倉庫 上場取引所 東
 コード番号 9307 URL <http://www.sugimura-wh.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 福西 康人
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小松 圭作 (TEL) 06-6571-1221
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月5日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	10,266	0.9	1,204	2.1	1,137	2.5	924	△1.7
2019年3月期	10,174	1.1	1,180	12.8	1,110	13.9	940	△16.1

(注) 包括利益 2020年3月期 693百万円 (△7.5%) 2019年3月期 749百万円 (△28.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	56.93	56.53	7.2	4.8	11.7
2019年3月期	58.04	57.51	7.7	4.6	11.6

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	23,168	13,096	56.5	802.52
2019年3月期	23,839	12,525	52.4	770.63

(参考) 自己資本 2020年3月期 13,086百万円 2019年3月期 12,495百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,606	△682	△1,378	4,139
2019年3月期	1,398	△118	△1,423	4,594

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	3.00	—	4.50	7.50	121	12.9	1.0
2020年3月期	—	3.00	—	4.50	7.50	122	13.2	1.0
2021年3月期(予想)	—	3.00	—	4.00	7.00		13.4	

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,970	△3.9	550	△15.6	530	△14.9	440	△14.7	26.98
通期	10,020	△2.4	1,090	△9.5	1,030	△9.5	850	△8.0	52.12

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	16,374,110株	2019年3月期	16,282,110株
② 期末自己株式数	2020年3月期	66,947株	2019年3月期	66,763株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	16,237,883株	2019年3月期	16,204,978株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 事業等のリスク	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16
役員の異動	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、企業の業績や雇用情勢の改善を背景に期央まで景気は緩やかな回復基調にありました。しかし、期末にかけ消費税増税による国内消費低迷が顕在化したことや新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国内経済を取り巻く状況は急速に悪化しました。

倉庫物流業界では、人手不足による人件費や運送費の高騰で厳しい事業環境が継続しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により荷動きの停滞が見られ、今後の見通しが不透明な状況となりました。このような情勢のもと、当社グループは高品質の物流サービスの提供による顧客満足度の向上と、業務のより一層の効率化を目指してまいりました。

当連結会計年度における当社グループの営業収益は、102億6千6百万円となり、前連結会計年度に比べ9千1百万円(0.9%)の増収となりました。営業原価は81億7千1百万円となり、前連結会計年度に比べ7千1百万円(0.9%)増加し、販売費及び一般管理費は8億9千万円となって、前連結会計年度に比べ4百万円(0.5%)減少しました。この結果、営業利益は12億4百万円となり、前連結会計年度に比べ2千4百万円(2.1%)の増益となりました。経常利益は11億3千7百万円となり、前連結会計年度に比べ2千7百万円(2.5%)の増益となりました。特別利益に投資有価証券売却益2億4千8百万円を計上し、特別損失に固定資産除却損1千3百万円等を計上し、法人税等4億4千8百万円を差し引くと、親会社株主に帰属する当期純利益は9億2千4百万円となり、前連結会計年度に比べ1千6百万円(1.7%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(物流事業)

当連結会計年度は、倉庫業務は前連結会計年度に比べ輸入雑貨の取扱が減少したものの、電気機械や日用品などの取扱が増加しました。運送業務は期中での配送は好調でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により期末需要期での伸びが例年より減少しました。この結果、外部顧客に対する営業収益は86億4千6百万円となり、前連結会計年度に比べ1億円(1.2%)の増収となりました。費用面では賃借使用料や減価償却費が減少し、セグメント利益は7億9百万円となり、前連結会計年度に比べ1億2百万円(17.0%)の増益となりました。

(不動産事業)

新規物件の賃貸を開始しましたが、既存物件の料金改定や一部のテナントとの契約の終了が有りましたので、外部顧客に対する営業収益は12億9千9百万円となり、前連結会計年度に比べ2千2百万円(1.7%)の減収となりました。費用面で修繕費や賃借使用料が増加し、セグメント利益は9億6千3百万円となり、前連結会計年度に比べ9千5百万円(9.0%)の減益となりました。

(その他の事業)

ゴルフ練習場の入場者数は暖冬の影響などにより大幅な増加となりました。その結果、営業収益が2億4千万円となり、前連結会計年度に比べ増収増益となりました。

売電事業は営業収益が7千9百万円となり、前連結会計年度には及びませんでした。減価償却費が減少しましたので、減収増益となりました。

以上により、その他の事業の営業収益は3億2千万円となり、前連結会計年度に比べ1千4百万円(4.6%)の増収となりました。セグメント利益は1億6百万円となり、前連結会計年度に比べ1千6百万円(18.7%)の増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億7千万円減少し、231億6千8百万円となりました。これは、流動資産において現金及び預金等が減少し、固定資産において建物及び構築物や投資有価証券が減少したことなどによります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて12億4千1百万円減少し、100億7千2百万円となりました。これは流動負債において工事等未払金が減少し、固定負債において長期借入金が減少したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億7千万円増加し、130億9千6百万円となりました。これは、株主資本の利益剰余金が増加したことなどによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べて4億5千4百万円減少し、41億3千9百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、16億6百万円の収入超過(前連結会計年度は13億9千8百万円の収入超過)となりました。

これは主に税金等調整前当期純利益13億7千2百万円、減価償却費7億6千9百万円でありましたが、投資有価証券売却益2億4千7百万円、法人税等の支払額2億9千5百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、6億8千2百万円の支出超過(前連結会計年度は1億1千8百万円の支出超過)となりました。

これは主に投資有価証券の売却による収入3億2千2百万円、有形固定資産の取得による支出6億6千3百万円、無形固定資産の取得による支出3億3千万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、13億7千8百万円の支出超過(前連結会計年度は14億2千3百万円の支出超過)となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出12億7百万円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率	50.4	43.3	47.4	52.4	56.5
時価ベースの自己資本比率	21.7	18.8	80.2	59.7	27.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	7.9	11.4	4.3	6.2	4.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ	9.1	8.2	18.5	12.9	17.0

(注) 自己資本比率： 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率： 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率： 有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ： キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

※ キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の我が国経済は、不安定な海外経済情勢や株式・為替市場に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、企業業績や内外経済活動への影響が大きく懸念されております。当社グループの取引先は、製造業や卸売業・小売業、サービス業など多岐にわたっており、それらを取り巻く事業環境は、我が国のみならず諸外国の状況にも影響を受けるため、取扱貨物の荷動きが停滞する可能性が有り、先行き不透明な状況に置かれております。

2021年3月期の業績予想につきましては、現時点では営業収益100億2千万円(前期比2.4%減)、経常利益10億3千万円(前期比9.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益8億5千万円(前期比8.0%減)を予想しております。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に見積もることは困難であり、上記の業績予想は本日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える可能性のある下振れ要因を織り込んで作成したものであります。

今後、必要に応じて業績見通しの修正を行う可能性が有り、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

(5) 事業等のリスク

当社の事業等のリスクには、2019年6月27日提出の有価証券報告書に記載した「⑦自然現象による災害」の内容に加え、新型インフルエンザなどの感染症(今回は新型コロナウイルス)の拡大に伴う事業活動の制限から当社グループの経営成績、財政状況等に影響を及ぼす可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりません。国内でのIFRSの採用動向を検討した結果、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,596,533	4,141,558
受取手形及び売掛金	1,021,768	1,031,814
リース投資資産(純額)	2,267,806	2,271,533
その他	70,287	79,762
貸倒引当金	△3,861	△3,832
流動資産合計	7,952,535	7,520,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,228,460	7,903,822
機械装置及び運搬具(純額)	559,595	548,836
工具、器具及び備品(純額)	152,036	164,891
土地	4,521,172	4,521,172
リース資産(純額)	17,081	15,154
建設仮勘定	—	244,279
有形固定資産合計	13,478,347	13,398,157
無形固定資産		
借地権	295,290	295,290
その他	203,558	424,508
無形固定資産合計	498,848	719,798
投資その他の資産		
投資有価証券	1,520,552	1,113,224
繰延税金資産	156,536	171,786
その他	253,811	265,995
貸倒引当金	△21,387	△21,387
投資その他の資産合計	1,909,513	1,529,619
固定資産合計	15,886,709	15,647,575
資産合計	23,839,244	23,168,410

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	329,754	339,508
1年内返済予定の長期借入金	1,207,642	1,796,342
未払金	193,654	81,427
リース債務	12,384	9,039
未払法人税等	146,258	326,272
未払消費税等	48,244	120,471
賞与引当金	174,495	178,371
未払費用	250,062	232,726
その他	119,638	123,042
流動負債合計	2,482,133	3,207,201
固定負債		
長期借入金	7,383,547	5,587,205
長期預り金	242,200	142,720
リース債務	10,059	10,090
繰延税金負債	238,756	135,526
役員退職慰労引当金	192,977	219,941
退職給付に係る負債	725,636	730,608
資産除去債務	34,592	35,050
その他	3,870	3,870
固定負債合計	8,831,640	6,865,012
負債合計	11,313,774	10,072,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,613,117	2,624,053
資本剰余金	2,392,992	2,416,877
利益剰余金	6,977,906	7,780,619
自己株式	△18,199	△33,822
株主資本合計	11,965,817	12,787,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	557,505	322,378
退職給付に係る調整累計額	△27,346	△23,213
その他の包括利益累計額合計	530,158	299,164
新株予約権	29,495	9,305
純資産合計	12,525,470	13,096,197
負債純資産合計	23,839,244	23,168,410

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業収益	10,174,544	10,266,498
営業原価	8,099,926	8,171,314
営業総利益	2,074,618	2,095,183
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	479,733	496,071
その他	414,868	394,496
販売費及び一般管理費合計	894,601	890,567
営業利益	1,180,016	1,204,616
営業外収益		
受取利息	41	21
受取配当金	33,332	32,005
社宅使用料	24,980	26,436
その他	28,809	18,564
営業外収益合計	87,164	77,028
営業外費用		
支払利息	109,264	95,132
支払手数料	30,676	30,885
その他	16,887	18,025
営業外費用合計	156,829	144,043
経常利益	1,110,351	1,137,601
特別利益		
投資有価証券売却益	263,622	248,760
受取保険金	43,914	—
その他の未払金取崩益	68,440	—
特別利益合計	375,976	248,760
特別損失		
災害による損失	98,668	—
減損損失	5,505	—
固定資産除却損	10,430	13,000
投資有価証券売却損	474	838
ゴルフ会員権評価損	800	—
特別損失合計	115,878	13,838
税金等調整前当期純利益	1,370,449	1,372,523
法人税、住民税及び事業税	301,106	468,526
法人税等調整額	128,784	△20,396
法人税等合計	429,890	448,129
当期純利益	940,559	924,393
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	940,559	924,393

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	940,559	924,393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△191,451	△235,126
退職給付に係る調整額	579	4,132
その他の包括利益合計	△190,871	△230,993
包括利益	749,687	693,399
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	749,687	693,399
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,598,427	2,378,328	6,142,587	△18,127	11,101,216
当期変動額					
新株の発行	14,689	14,663			29,353
剰余金の配当			△105,239		△105,239
親会社株主に帰属する当期純利益			940,559		940,559
自己株式の取得				△71	△71
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	14,689	14,663	835,319	△71	864,601
当期末残高	2,613,117	2,392,992	6,977,906	△18,199	11,965,817

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	748,956	△27,926	721,030	31,099	11,853,345
当期変動額					
新株の発行					29,353
剰余金の配当					△105,239
親会社株主に帰属する当期純利益					940,559
自己株式の取得					△71
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△191,451	579	△190,871	△1,604	△192,475
当期変動額合計	△191,451	579	△190,871	△1,604	672,125
当期末残高	557,505	△27,346	530,158	29,495	12,525,470

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,613,117	2,392,992	6,977,906	△18,199	11,965,817
当期変動額					
新株の発行	10,936	10,930			21,866
剰余金の配当			△121,680		△121,680
親会社株主に帰属する当期純利益			924,393		924,393
自己株式の取得				△38,134	△38,134
自己株式の処分		12,955		22,511	35,466
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	10,936	23,885	802,712	△15,623	821,910
当期末残高	2,624,053	2,416,877	7,780,619	△33,822	12,787,727

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	557,505	△27,346	530,158	29,495	12,525,470
当期変動額					
新株の発行					21,866
剰余金の配当					△121,680
親会社株主に帰属する当期純利益					924,393
自己株式の取得					△38,134
自己株式の処分					35,466
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△235,126	4,132	△230,993	△20,190	△251,183
当期変動額合計	△235,126	4,132	△230,993	△20,190	570,726
当期末残高	322,378	△23,213	299,164	9,305	13,096,197

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,370,449	1,372,523
減価償却費	809,189	769,894
減損損失	5,505	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△40	△28
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,428	3,876
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△12,456	4,971
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	30,575	26,963
厚生年金基金解散損失引当金の増減額 (△は減少)	△71,770	—
株式報酬費用	13,006	17,089
受取利息及び受取配当金	△33,374	△32,027
支払利息	109,264	95,132
受取保険金	△43,914	—
災害損失	98,668	—
有形固定資産除却損	10,430	13,000
投資有価証券売却損益 (△は益)	△263,147	△247,921
ゴルフ会員権評価損	800	—
売上債権の増減額 (△は増加)	70,844	△10,045
リース投資資産の増減額 (△は増加)	46,518	△3,726
仕入債務の増減額 (△は減少)	△37,265	9,754
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△198,192	72,227
その他	△29,435	△127,143
小計	1,883,086	1,964,539
利息及び配当金の受取額	33,374	32,027
利息の支払額	△108,678	△94,690
保険金の受取額	43,914	—
災害損失の支払額	△98,668	—
法人税等の支払額	△354,321	△295,826
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,398,705	1,606,049
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△189,505	△663,183
有形固定資産の売却による収入	3,822	4,231
有形固定資産の除却による支出	△205,880	△13,000
無形固定資産の取得による支出	△90,406	△330,724
投資有価証券の取得による支出	△1,908	△1,950
投資有価証券の売却による収入	365,332	322,168
その他	2	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△118,543	△682,455

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,314,758	△1,207,642
自己株式の取得による支出	△71	△38,105
リース債務の返済による支出	△12,384	△13,526
新株予約権の行使による株式の発行による収入	7,890	1,681
配当金の支払額	△104,050	△120,975
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,423,373	△1,378,568
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△143,211	△454,975
現金及び現金同等物の期首残高	4,737,245	4,594,033
現金及び現金同等物の期末残高	4,594,033	4,139,058

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「物流事業」は、倉庫業者の営む貨物保管、荷役荷捌及びこれに付随する業務、貨物自動車運送事業者の営む貨物自動車運送及びこれに付随する業務、「不動産事業」は、土地、家屋、駐車場等の賃貸業務、「その他の事業」は、ゴルフ練習場等のサービス業務、売電事業等であります。

2. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

3. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	物流事業	不動産事業	その他の 事業	計		
営業収益						
外部顧客に対する営業 収益	8,546,435	1,322,108	306,000	10,174,544	—	10,174,544
セグメント間の内部営 業収益又は振替高	29,520	150,419	42,480	222,419	△222,419	—
計	8,575,955	1,472,528	348,480	10,396,964	△222,419	10,174,544
セグメント利益	606,529	1,058,753	89,714	1,754,997	△574,981	1,180,016
セグメント資産	17,325,111	5,696,144	820,580	23,841,836	△2,592	23,839,244
その他の項目						
減価償却費	603,780	132,591	72,818	809,189	—	809,189
持分法適用会社への 投資額	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	376,920	15,351	3,210	395,483	—	395,483

(注) 1. セグメント利益の調整額△574,981千円は各報告セグメントに配分されていない全社費用であります。全社費用は親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	物流事業	不動産事業	その他の 事業	計		
営業収益						
外部顧客に対する営業 収益	8,646,508	1,299,805	320,184	10,266,498	—	10,266,498
セグメント間の内部営 業収益又は振替高	28,800	152,608	41,770	223,178	△223,178	—
計	8,675,308	1,452,414	361,954	10,489,677	△223,178	10,266,498
セグメント利益	709,443	963,012	106,458	1,778,914	△574,298	1,204,616
セグメント資産	16,873,955	5,514,053	783,041	23,171,050	△2,640	23,168,410
その他の項目						
減価償却費	552,459	152,207	65,227	769,894	—	769,894
持分法適用会社への 投資額	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	858,318	53,106	15,800	927,225	—	927,225

(注) 1. セグメント利益の調整額△574,298千円は各報告セグメントに配分されていない全社費用であります。全社費用は親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	770.63円	802.52円
1株当たり当期純利益	58.04円	56.93円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	57.51円	56.53円

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	940,559	924,393
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	940,559	924,393
普通株式の期中平均株式数(株)	16,204,978	16,237,883
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	149,371	113,206
(うち新株予約権(株))	(149,371)	(113,206)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額の算定に含まれ なかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当連結会計年度末 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	12,525,470	13,096,197
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	29,495	9,305
(うち新株予約権(千円))	(29,495)	(9,305)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	12,495,975	13,086,892
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(株)	16,215,347	16,307,163

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

役員の異動

役員の異動につきましては、本日、別途開示しております「役員の異動に関するお知らせ」をご参照ください。